

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	199,918,309	12,100	-	199,930,409
基本財産積立預金	81,691	-	12,100	69,591
小計	200,000,000	12,100	12,100	200,000,000
特定資産				
小計	-	-	-	-
合計	200,000,000	12,100	12,100	200,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	199,930,409	(199,930,409)	-	-
基本財産積立預金	69,591	(69,591)	-	-
小計	200,000,000	(200,000,000)	-	-
特定資産				
小計	-	-	-	-
合計	200,000,000	(200,000,000)	-	-

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	4,285,972	3,316,687	969,285
図書	3,937,889	-	3,937,889
合計	8,223,861	3,316,687	4,907,174

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
北九州市債	199,930,409	226,340,000	26,409,591
合計	199,930,409	226,340,000	26,409,591

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
基本財産受取利息	4,692,108
合計	4,692,108